



ドキュメンタリー映画

Voices from the 闇からの声なき声 Shadows

「臓器別に分類された医学によって、筋痛性脳脊髄炎（ME）は過去30年間、否定され続けてきました」

—「MEのための国際的合意に基づく診断基準」共著者ニゲル・スパイト博士

「米国の医学教育課程に組み込まれるべき映画です」

—スタンフォード大学医学部ホセ・モントヤ教授（感染症学）

慢性疲労症候群 / 筋痛性脳脊髄炎を考える

映画鑑賞と患者からの報告

6月23日（日）午後2時～午後4時半

TOiGO WEST 4階 長野市生涯学習センター 大学習室1

入場無料

慢性疲労症候群（CFS）/筋痛性脳脊髄炎（ME）とは？

中枢神経系や免疫システム、代謝システムなど様々な系統に異常を来す複雑な疾患で、極度の倦怠感や疲労感、激しい筋肉痛、頭痛、あらゆる刺激に対する過敏症、認知機能の低下などが6カ月以上続く。精神的なものと誤解され、孤独や偏見に苦しむ患者が少なくない。子どもも発症し、日本で約30万人の患者がいると推定される。原因は不明で治療法も確立していない。

主催：「闇からの声なき声」上映会 in 長野実行委員会

後援：NPO法人 筋痛性脳脊髄炎の会（旧 慢性疲労症候群をともに考える会）